

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
118	拓殖大学	安全保障	佐藤 丙午 国際学部 教授	2	後期	月	13	11:15～13:00	拓殖大学 八王子国際キャンパス	5

【授業の目的及び到達目標】

本講義は、安全保障論の基礎的知識を習得することにある。

安全保障論では、軍事問題に限らず、社会の安全認識に影響が及ぶ事象を対象とする。本講義では、安全保障論の包括性に留意しつつ、戦略論や軍事学などを中心に安全保障論の理論構造を学ぶ。ただし、安全保障で扱うべき事象の多様性を考慮し、理論の将来の発展可能性を、今日の現象の中に探る。なお、この科目は、以上を学ぶことにより、「卒業認定・学位授与の方針」の中で謳う「専門的知識」を身につけるための科目である。

【授業内容】

1. 今日の戦略環境と安全保障研究

現在の安全保障論の構図、そして理論が政策にどのように関連するか説明する。

2. 安全保障論の視座

安全保障論で扱う主題、その扱い方、さらにはそれをどのように政策に適用すべきか説明する。

3. 現実主義

国際関係論の現実主義を踏まえつつ、安全保障論における現実主義的思考の概要を解説する。

4. リベラリズム・平和研究

安全保障論におけるリベラリズムの系譜を説明し、同時に平和研究の概要を解説する。

5. 批判理論・社会構成主義・人間の安全保障

安全保障論に対する批判理論の貢献を解説する。人間の安全保障に対する関心が、いかに伝統的な安全保障論と関連するか説明する。

6. 軍事安全保障

安全保障における軍の役割と機能を解説する。軍事史についても、今日の安全保障問題と関係する範囲で解説する。

7. 戦略論①

軍事力の役割を含む、戦略論の基本的考えを解説する。特に核戦略について解説する。

8. 戦略論②

軍事力の役割を含む、戦略論の基本的考えを解説する。通常兵器を中心とした戦略論を解説する。

9. 軍備管理軍縮論

安全保障政策において、軍備管理軍縮がどのような位置づけを受けており、どれだけの機能を果たしているのか概観する。

10. 地政学

地政学の議論を紹介し、今日地政学が興隆している理由を、アジア太平洋の安全保障環境から説明する。

11. 戦争と安全保障①：戦争研究の理論的考察

大戦略の在り方、戦争と戦略、核抑止と制限戦争、テロリズムと戦争、ハイブリッド戦争などを扱う。シーパワー、エアパワー、ランドパワーについて考察し、同時に新たな領域についての戦争について解説する。

12. 戦争と安全保障②戦争と社会

戦争社会学を扱う。政軍関係や、軍隊と社会の関係の在り方、国際法等への影響など、社会がどのように戦争を考察してきたか解説する。

13. エネルギー安全保障

エネルギー安全保障を考察し、原子力政策の歴史的展開と、エネルギー供給の問題と各国の安全保障政策がいかに連動しているか解説する。

※拓殖大学の授業時間は、1時限 105分となっています。

【授業の方法】

講義形式で実施する。授業では、毎回レジュメを配布し、それに基づいて説明を行う。安全保障は、同時代的に進行する国際情勢の反映が重要であるため、受講者は十分に情報にアクセスし、自分の意見を持つことが重要である。授業はそれを前提に進める。

【予習・復習】

授業の内容は、教科書の指定部分を中心に解説している。教科書の該当部分を学習することが必要である。履修生は、時事的な問題を授業前にフォローし、それを授業内でどのように理解すべきか確認する。授業後、理論の習得の度合いを自身で確認し、疑問点を次回授業で教員に質問するのが望ましい。

【成績評価方法】

学期の最後に試験形式で実施する。平素点：30%、試験点 60%、授業参加点：10%。コロナの状況に応じ、試験をペーパーにするか、レポートにするかは決定していない。授業では受講者に質問を投げかけるので、それに対する応答も重視する。

【参考書、教材等】

教科書

Paul Williams, Matt DeDonald, <i>Security Studies: An introduction, 3rd.</i> (Routledge, 2018).

Alan Collins, <i>Contemporary Security Studies, 5th.</i>, (Oxford, 2019).

教科書・参考書

Thomas G. Mahnken, <i>Competitive Strategies for the 21st Century</i> (Stanford, 2012).

Elinor Sloan, <i>Modern Military Strategy: An Introduction</i> (Routledge, 2016).

Lindley-French and Yves Boyer, <i>The Oxford Handbook of War</i> (Oxford, 2012).

Peter Hough, et.al., <i>International Security Studies: Theory and Practice, 2nd.</i> (Routledge, 2021).

その他授業で指定する。

※ この授業は、9/25 (月) が初回です。